

# ミスから大量5失点 後期初戦は不穏な船出

## 駒澤大学1-5亜細亜大学

失点し肩を落とす選手  
(撮影：森下和貴)

9月16日 11:30 日立市民運動公園陸上競技場

駒大 1 (1-2) 5 亜大  
(0-3)

得点者 (アシスト)

[駒]32分奥村(湯澤)

[亜]34分当銀(坂梨)  
[亜]38分当銀(PK)  
[亜]68分若松(坂梨)  
[亜]75分当銀(宮崎)  
[亜]80分和田

### KOMAZAWA

### ASIA

GK①檜山昇吾(3)  
DF⑤柳川剛輝(1)  
DF④三澤祥馬(4)  
DF⑬平尾優頼(2)  
DF③田中雄一(3)  
MF⑥若山瞭太(3)  
MF⑧碓井鉄平(3)  
MF⑪小牧成亘(2)  
(67分真野直紀(4))  
(82分畦地健太(3))  
MF⑩湯澤洋介(4)  
(70分菊池将太(1))  
MF⑦奥村 情(4)  
FW⑨山本大貴(3)

GK①伊藤彰人(4)  
DF②猪瀬 陵(4)  
DF⑬佐藤 帆(3)  
DF⑤滝本翔平(2)  
DF⑳星野佑太(1)  
MF⑦和田祐樹(4)  
MF⑩當銀郁弥(4)  
MF⑧今野 昭(2)  
MF⑥阿川隆太(2)  
(45分㊦吉光寺俊博)  
FW④坂梨 吏(4)  
(69分宮崎銀次郎(1))  
FW②若松祐介(3)  
(85分藤田涼輔(1))

### S U B

### S U B

GK①大石健太(1)  
DF②友廣壮希(3)  
DF⑩大木 暁(2)  
MF⑭中村 駿(1)

GK②井上雅人(2)  
DF③川島優治(3)  
MF⑬須賀智哉(2)  
MF⑮市倉滉大(4)

MANAGER  
秋田浩一

MANAGER  
小島 徹

[シュート]8:17 [GK]15:9 [CK] 6:3 [直接FK]16:14  
[間接FK]1:5 [主審]遠藤良昭 [観衆]462人

警告(C) / 退場(S)

[駒]三澤祥馬(C) [亜]滝本(C)  
[駒]山本大貴(C)  
[駒]三澤祥馬(C)(S)

※データの左側が駒大

### 下位亜大相手に苦しい黒星

誰もが予期せぬ結果となった。逆転優勝に向けて大事な後期初戦。快勝で勢いに乗りたいたところだったが、まるでいいところなく完敗。万全の準備をしてきたはずの選手たちにとっては、厳しい現実となった。

前半立ち上がりから、駒大の選手の動きが固い。三澤主将も「全員の調子が悪かった」と振り返り、駒大らしい運動量豊富なサッカーが出来なかった。攻め込まれるシーンが続き、相手のシュートがポストに直撃するなど、ヒヤリとする場面を多く作られるも、失点せずに試合を進めていくと、ワンチャンスをもににする。

32分、パスを受けた湯澤が中に折り返すと、待ち受けていたのは奥村。冷静にゴールへ流し込み、奥村の今季初得点で先制に成功する。しかし喜びもつかの間、わずか2分後に同点とされる。右から入れられたクロス、中でフリーになり待ち構えていた選手に決められ、あっさりと振り出しに戻された。するとさらに38分、三澤が相手をペナルティエリア内で倒したと判定されPK。微妙な判定だったがこれをきっちり決められ逆転された。

後半に入り、気持ちを切り替えたのか、徐々にチャンスを作り始める。立ち上がりからセットプレーを中心に押し込むが、あと一歩が足りず、得点を奪うことが出来ない。ここで再び痛恨のミスから失点を重ねてしまう。

68分、キーパーの蹴ったボールが一直線にゴールへと向かっていく。これを三澤と檜山で見合ってしまった、処理を誤ったところを決められてしまった。大きな大きな3点目。「3失点目で諦めた人もいた」(奥村)とあるように、ここから盛り返すだけの力はなく、さらに2失点。今季ワースト5失点で大敗を喫した。

秋田監督は「また出直し」と話し次へと切り替えていたが、選手たちの精神的ダメージは大きいだろう。さらに次戦は三澤主将が出場停止。苦しい試合になるのは間違いない。とはいえこのままの雰囲気では優勝はおろか昇格すら逃してしまうだろう。シーズンは再開してしまった。立ち止まっている暇はなく、前に進むしかない。進んだ先に見えるのは光りか、それとも・・・何よりも、次こそは熱くなれる試合を期待しよう。

(森下和貴)